

国語

第3学年

育成を目指す資質・能力 【創造性】【主体性】

単元名

「作品」から世界を見つめよう 挨拶～原爆の写真によせて 他2編

【単元の概要】

「作者はなぜ、原爆の悲劇を後世に伝える手段として詩を選んだのか」という疑問をきっかけに、「詩のよさ」を考えていきます。原爆を題材としている詩を分析する学習活動では、多面的に詩を分析していくことで、生徒の読みが深まっていくと同時に、「詩のよさ」に気付き、他の詩への関心へと広がっていきます。そして同時に、「原爆や平和について他者に伝えたい」という思いが高まっていき、自ら原爆や平和、戦争に関連する詩を紹介することを通して、平和を訴える実践へとつながっていきます。

学習指導要領における領域・内容
C読むこと ア ウ エ

他教科等との関連
道徳の時間、社会

◆単元の目標

3編の詩及び自分が選んだ「原爆」や「平和」、「戦争」の詩を巡っての作者の思いを、構成や表現の工夫、展開等に注目しながら読む力を身に付けるとともに、他の媒体ではなく、詩を用いて表現した意図を考え、「詩のよさ」についての自分の考えをもつ。

◆単元の展開（全9時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
課題の設定①（1）		
原爆に関する意識調査を分析し、疑問や課題を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○原爆が投下された日時を正確に答えられる人がだんだん減ってきているね。 ○このままだったら、知っている人がいなくなるよ。 ○ちゃんと、残していかないと。 ○私たちに何かできるかな。 	<p>【道徳の時間】 4－（9）、4－（10） 学級担任と連携し、国、そして国際社会の平和についての思いを高めておく。</p> <p>【社会】原爆についての学習を想起させ、自分達もあいまいにしかに語れないことに気付かせ、課題意識を高めさせる。</p> <p>■原爆の記憶が風化していることや、被爆体験継承の体制が弱体化していることが掲載されている新聞などを準備しておき、問題意識を高めさせる。</p> <p>■情報を得るために、普段どの媒体を利用するのか、その媒体を利用する理由やその媒体のよさを話し合うことを通して、作者が媒体として「詩」を選択したことへの疑問を感じさせる。</p>
原爆の悲劇を後世に残すための媒体として、「詩」があることを知り、なぜ「詩」なのか、他の媒体との違いを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビや写真の方がその時の様子がよく分かるのに、どうして詩にしたんだろう。 ○「詩」には写真とか絵はないけど、あえて「詩」にしたということは、何かよさがあるんじゃないかな。 	
作者はなぜ、原爆の悲劇を後世に伝える手段として詩を選んだのか、「詩のよさ」を明らかにしよう！		
課題解決の見通しをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ○「詩のよさ」を見付けるためにはどうすればいいかな。 ○まずはやっぱり、詩の内容や作者が詩に込めた思いを読み取っていかないとけないよね。 ○詩を読むの、苦手なんだよね。どうやって読めばいいか知りたいな。 ○他にも原爆に関係する詩ってあるのかな？1つだけじゃ、他の媒体よりいい・悪いはいえないよ。 ○平和公園の碑に「ちちをかえせ、ははをかえせ」って書いてあったけど、あれも原爆に関する詩かな？ 	<p>■教科書教材以外の原爆に関係する詩に関心をもたせたり、詩の内容や作者の思いを理解することで詩のよさを見付けたりすることができることに気付かせる。</p> <p>■学習の計画として、 ①詩の内容を捉える ②同じ題材の複数の詩を読み比べる の2つの柱を立てさせる。</p>
	<p>「課題解決に向けて、どんな学習が必要かを話し合うことで、見通しをもっている。</p>	

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
情報の収集・整理・分析①（４）		
<p>これまでの詩を読む学習（構成、表現の工夫等）の学びを活用し、3編の詩の特徴を捉え、作者が伝えようとしたことは何かを考える。</p>	<p>○Aの詩は、具体的な日時や数字を繰り返す表現の工夫があるね。過去の事実や現在もその問題を抱えていることをはっきり伝えようとしていると思う。</p> <p>○Bの詩は、カタカナで書く表現の工夫があるね。感情がないような、麻痺したように感じる。それほど悲惨だったということが言いたいのかな。</p> <p>○Cの詩は何回も「かえせ」が出てくるね。残された人の悲しみや怒りの大きさを伝えたいのかな。原爆に家族を奪われた人の視点で構成されていることが分かるね。</p> <p>○Cの詩は、「誰の立場から、誰に向けて」書いたのかが分かったよ。でも、AとBは、分からないな。もっと詩を深く捉えるにはどうしたらいいのだろう。</p> <p>同じ題材を扱った詩でも構成や表現が異なることに気付くと同時に、まだ読みの深まりが不十分であると感じる。</p>	<p>■俳句や短歌、物語の学習での読みの手立てを思い出させる。</p> <p>■3編の詩は A「挨拶～原爆の写真によせて～」 B「原爆小景」 C『原爆詩集』序 である。これらを比較しながら思考できるワークシートを活用する。</p>
<p>詩を読む新しい手段（＝5W1Hの観点）を知り、Bの詩を分析する。</p>	<p>○Bの詩を、「When」の観点で分析すると、原爆が投下された直後と言えるね。</p> <p>○「What」の観点で分析すると、直後の生々しい様子が書いてあることが分かるよ。原爆がどんなに恐ろしいか、原爆なんてあってはダメだということを世界中の人に伝えようとしたんだと思う。</p> <p>○5W1Hの観点で分析していくと、作者がいつこの詩を書いたのか、誰の立場で書いたのかが分かってきたよ。</p> <p>詩が作られた背景にまで読みが深まり、同時に、作者が詩に込めた思いに迫っている。</p>	<p>■5W1Hとは When…年月日、季節、時間帯、いつ書かれたか等 Where…場面設定、国、地域等 Who…誰について、誰に向けて、誰の視点等 What…何について、どんなこと等 Why…なぜこの作品を書いたのか How…どのような、どのように（5Wを詳しくする） である。これらの観点で分析することで、表現や語彙等により着目することで、作品が作られた背景や作者の思いに迫る深い読みとなる。</p> <p>■特徴あるBの詩を使い、5W1Hを用いた分析をすることで、自分の読みの深まりを感じさせる。</p>
<p>5W1Hで残り2編を分析し、情報を関連させながら作者が伝えようとしていることを考える。</p>	<p>○Aの詩は「Who」の観点で分析すると、原爆で犠牲になった人と、その後生きる人たちのことが書いてあることが分かるよ。</p> <p>○Aの詩の「なぜそんなにも安らかにあなたは美しいのか」からは「What」が読み取れるね。今を生きる私たちが、原爆のことを重大なこととして受け留めていないと、作者は怒っているんだよ。</p> <p>○Cの詩の「くずれぬへいわをかえせ」は原爆を投下した国（=Who）に対して、言っているんだと思うな。</p> <p>○「わたしをかえせ」は生き残った人も家族を失ったり、けがをしたり、心が傷ついたりして、それまでの生活ができなくなった人（=Who）の声じゃないかな。</p> <p>○「Why」の視点から分析すると、作者は自分だけでなく、原爆投下を体験した広島の人々全ての思いを代弁してこの詩を書いたんだと思えてきたよ。</p> <p>読み取った情報を関連付けて話し合うことで、「誰のどんな思い」を「誰に伝えるか」が明確になっている。</p>	<p>■Bの詩と同じように、5W1Hを用いて、分析をさせる。同じ手順を反復させ、詩の読みの手立ての定着を図る。</p> <p>■5W1Hの観点で詩を分析すると、誰の立場から、誰を対象として、どんな思いを訴えているのかを読むことができ、深い読みが実現していることを感じさせる。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
振り返り、課題設定②（１）		
<p>「作者はなぜ、詩を選んだのか」、「詩のよさ」について、話し合う。</p>	<p>○詩は分かりにくいと思ったけど、5W1Hの観点で分析していくと、誰が誰に向けて訴えているのかが分かったよ。</p> <p>○文字や表現に注意して読むと、頭の中で人それぞれ自由に想像を広げることができる。人それぞれの受け止め方ができるよね。だから作者は、詩に残したんだよ。</p> <p>○他の詩も読んでみんなに紹介すれば、原爆について考えるきっかけになると思うな。</p> <p>いろいろな観点で分析し、対話を繰り返すことで、内容をより深く理解したり、作者の思いを考えたりすることができる。また、その過程で原爆等について何度も考えることができるのが「詩のよさ」であることに気付く。</p>	<p>■多面的に詩を分析していく学習や作者が詩を選択した理由を考える学習を通して、「詩のよさ」をより深く理解し、他の詩を読んでみようという気持ちを高める。</p> <p>■「原爆の記憶の風化」や「被爆体験継承の体制が弱体化」していることを思い出させ、伝えることの必然性をもたせる</p>
その他の「原爆」等を題材とした詩を探し、紹介しよう！		
情報の収集、整理・分析②（１）		
<p>「原爆」「平和」「戦争」について考えてもらうために読んでほしい詩を選択するときのポイントを整理する。</p>	<p>○「原爆」「平和」「戦争」について考えてほしい人は誰か決めないと、どの詩を選んだらいいか分からないね。</p> <p>○3編の詩を読んだ方法で、詩の意味や作者の思いを捉え、そのことを説明したり、自分の意見を書いたりした紹介文を載せたらどうかな。</p> <p>相手や目的を明確にすることや、どんな形で提案するのかを考えている。</p>	<p>■対象や目的を明確にし、どの詩がふさわしいのかを吟味させる。</p>
<p>5W1Hを用いて詩を分析し、紹介したい人や目的に応じた表現や内容の詩を選択する。</p>	<p>○僕は、1年生に向けて紹介したい。犠牲になった方や残された人の悲しみや苦しみを知って、今の平和を守らないといけないと考えられるような詩を、5W1Hの読み方を活用して選ぶつもりだよ。</p> <p>○原爆について、家族と考えたことがないから、一緒に考えられるような詩がいいな。</p> <p>紹介したい人や目的に応じた表現や内容の詩を選択する過程でも5W1Hの観点で詩を分析している。</p>	<p>■紹介したい人（対象）や目的（訴えたいこと、考えてほしいこと）に応じた表現や内容の詩を選択できているか、相互評価させる。</p>
まとめ・創造・表現（１）		
<p>対象や目的を再確認し、紹介文を書く。</p>	<p>○詩の内容や作者の思いを捉えるために、注目してほしい言葉や表現、そしてその詩が書かれた背景も取り上げて説明するといいね。</p> <p>詩を読んでもらうことで考えが深まるような紹介文になるよう書き方を工夫している。</p>	<p>■読み手がより深く詩の内容を理解し、それぞれに想像を広げることができるようにさせるためには、どのような視点で詩を読めばよいかを伝えるようにすることを意識させる。</p>
振り返り（１）		
<p>詩を読んだ感想から、意図や目的に応じた詩を紹介することができたか、学習を振り返る。</p>	<p>○思っていた以上に、1年生は紹介した詩から平和について考えてくれたみたい。事前に対象者がどのくらい原爆について知っているかも踏まえるともっとよい紹介が出来たかもしれないね。</p>	<p>■詩を読んだ感想を書いてもらい、自分の意図と読み手の反応が比較できるようにしておく。</p>

【児童生徒の変容】

同じ手順を用いて、複数の詩を読んでいくことで詩を読む技能が定着し、共通題材以外の詩を読む際にも活用できるようになっていった。また、テレビや写真など視覚に訴える媒体の方が効果的と考えていた生徒が、学習後には、作者があえて詩を選択したことや、その詩が吟味された構成、表現、語彙であったことに気付いた。「初めは詩を読んでも、『ふーん』としか思わなかったけど、平仮名や片仮名を使うとどんな印象を与えるか、5W1Hを使って、誰の立場から、誰を対象として、どんな思いを訴えているのかを考えていくと、同じ題材でも異なることが分かった。他にも詩はあるので、読んで考えていきたい。」などの振り返りから、多面的に分析して得た情報を関連させ、自分なりの解釈をもち、そして、他の詩も読んでみようという、創造性と主体性が発揮できたと捉えている。